

日本漢字音と閩南語

—日本漢字音の二重母音と閩南語韻母の対応を中心に—

文藻外語大學日本語文系 助理教授 佐藤圭司

1. はじめに

台湾人日本語学習者が日本語の漢字を学習する際、華語（いわゆる中国語、マンダリンとも）の発音から、漢字音を類推することが多い。例えば、感謝の「感」は華語で〈gǎn〉¹と発音されるので、日本語で「かん」という音が類推される。しかし「謝」はどうかと言えば、華語の〈xiè〉よりも閩南語の〈sia〉のほうが日本語の「しゃ」に近い。日本漢字音は中国語中古音に由来するため、それを源流とする閩南語の発音に近いのである。そのため、日本漢字音と閩南語の発音の対応関係を知れば、台湾人日本語学習者には有益となるだろうと考え、本稿では日本漢字音の二重母音に着目し、その対応を考察した。

2. 閩南語とは

本稿で取り上げる「閩南語」というのは、主に中国福建省南部で話される言語で、そこをルーツとする人が多く住む台湾でも母語の一つとなっており、「台湾語」とも呼ばれる。発音には二種類あり、主に書面語として現れる「文讀音」と、口語として現れる「白讀音」とがある。閩南語の音節構造は、I: Initial consonant (頭子音)、M: Medial vowel (介母)、V: principal Vowel (主母音)、F: Final (韻尾)、T: Tone (声調)の五つの要素からなっており、IMVF/Tの式で示される。このうち、頭子音を声母と呼び、介母と主母音と韻尾を合わせて韻母と呼ぶ。一方、日本語はと言うと、C: Consonant (子音)とV: Vowel (母音)からなるCVという単純な構造を基本単位としている。

3. 研究範囲と先行研究

まず、本稿で考察する日本漢字の範囲を『常用漢字表』の2,136字とし、当該表に字音が2つ以上ある場合、『常用漢字表』の最初に掲げられたものを当該字の字音とした。

本稿で着目する「日本漢字音の二重母音」の多くは「長音」として現れる。それには三種類あり、第一に「九(きゅう)」、「州(しゅう)」など<-uu>となる106例、第二に「平(へい)」、「成(せい)」など<-ee>となる134例、第三に「東(とう)」、「京(きょう)」など<-oo>となる410例がある。筆者はかつて、これら650例と閩南語韻母の対応関係を調査した(「日語漢字讀音「長音」與閩南語韻母的對應研究」『人文社會科學研究.教育類』第10巻第4期)。そして、『鼻音韻尾-ng、元音韻尾-u、入聲韻尾-pを含むものが長音となる確率が高く(凶 hiong、欧 au、急 kip→きょう、おう、きゅう)、鼻音韻尾-m、-n、元音韻尾-i、入聲韻尾-t、-k、-hを含むものが長音となる確率が低い(甘 kam、煙 ian、醫 i、骨 kut、角 kak、冊 tshéh→かん、えん、い、こつ、かく、さつ)』という対応関係を明らかにした。

ただし、その多くが「長音」として現れる「日本漢字音の二重母音」には、その他に以下の二種類がある。「類(るい)」、「推(すい)」など<-ui>となる22例と、「最(さい)」、「愛(あい)」など<-ai>となる118例であるが、本稿では、この二種類と閩南語韻母との対応関係を考察することとする。

¹ 華語には有声子音がないため、ローマ字ピンイン(拼音)で表される〈g-〉の音は日本語のか行の音に比較的近い。

4. 日本漢字音の二重母音<-ui>に対応する閩南語韻母

二重母音で発音される日本漢字音のうち、「ui」という発音になるものは、「すい」「ずい」「つい」「ゆい」「るい」の五種あり、常用漢字表には以下の22個ある。

水	吹	垂	炊	帥	粹	衰	推	醉	遂	睡	穗	隨	髓	追	椎	墜	唯	淚	累
墨	類																		

これらが閩南語でも同様に<-ui>という発音になるのか『臺灣閩南語常用詞辭典』によって調べた²。結果、日本漢字音と同様に閩南語でも<-ui>と発音するものは13個、<-ui>という字音もあるがそのほかに別の字音をも持つものが6個、<-ui>とは発音しないものが2個あった。以下の表のとおりである。

表1：日本漢字音と同様に<-ui>と発音する閩南語の表³

韻母が<-ui>である閩南語（13個）									
水すい	tsuí 白 /suí 文	粹すい	tshui	醉すい	tsui	遂すい	suī	穗すい	suī
隨ずい	suī	追つい	tui	墜つい	tuī	唯ゆい 4	uī	淚るい	luī
累るい	luí	墨るい	luí	類るい	luī				

表2：<-ui>という字音のほかに別の字音をも持つ閩南語の表

韻母が<-ui>以外に他の韻母の字音もある閩南語（6個）									
	tshui 文		suī 文		suì		thui 文		suī 文
吹すい	tshue 白 1/tshe 白2	垂すい	suê 白	帥すい	suè	推すい	the 白	睡すい	tsuê 白
髓ずい	tshuí 文								
	tshué 白 1/tshé 白2								

表3：日本漢字音とは違い<-ui>と発音しない閩南語の表

韻母が<-ui>ではない閩南語（2個）

² このうち「椎」は『臺灣閩南語常用詞辭典』になかった。

³ 表中の「文」、「白」は「文讀音」と「白讀音」を示し、印がないものは字音が一つしかないことを表す。当該辞典の説明には、通常「文讀音」は「文章語」、「白讀音」は「口頭語」で使われるとある。また、数字の「1」、「2」は「主音讀」、「第二優勢音」を示す。「俗」は「俗讀音」を示す。なお、「替代字」の字音「替代音」は取り上げないこととした。

⁴ 「唯」は『常用漢字表』に「ゆい」以外に「い」という字音もある。

炊すい	tshue1/ tshe2	衰すい	sue						
-----	------------------	-----	-----	--	--	--	--	--	--

表 1 から、閩南語でも <-ui> と発音されるものは 13 個あり、全体の約 62% であることがわかった。表 2 から、<-ui> という字音のほかに別の字音も持つものは 6 個あり、全体の約 29% であることがわかった。表 2 の字音を観察すると、日本語と同じく <-ui> と発音するのは、「帥」を除いて全て「文讀音」である。表 3 から、<-ui> とは発音しないものは 2 個あり、約 1% であることがわかった。

結果、表 1 で約 6 割、表 2 の数も加えると約 9 割という高い確率で対応していることが確認された。

ほとんどが <-ui> である中、表 2 と表 3 で見られた別の字音は、複元音韻母 <-ue> 7 例と単元音韻母 <-e> 4 例の二種類のみであった。

5. 日本漢字音の二重母音 <-ai> に対応する閩南語韻母

二重母音で発音される日本漢字音のうち、「ai」という発音になるものは、「あい」「かい」「がい」「さい」「ざい」「たい」「だい」「ない」「はい」「ばい」「まい」「らい」の十二種あり、常用漢字表には以下の 118 個ある。

哀	挨	愛	曖	介	回	灰	会	快	戒	改	拐	悔	海	界	皆	械	絵	開	階
塊	楷	解	潰	壞	懷	諧	外	効	害	崖	涯	街	慨	蓋	該	概	骸	才	再
災	妻	采	碎	宰	栽	彩	採	濟	祭	齋	細	菜	最	裁	債	催	塞	歳	載
際	在	材	劑	財	罪	太	対	体	耐	待	怠	胎	退	帶	泰	堆	袋	逮	替
貸	隊	滯	態	戴	大	代	台	第	題	内	拝	杯	背	肺	俳	配	排	敗	廢
輩	売	倍	梅	培	陪	媒	買	賠	每	妹	枚	昧	埋	来	雷	頼	賄		

これらが閩南語でも同様に <-ai> という発音になるのか『臺灣閩南語常用詞辭典』によって調べた⁵。結果、日本漢字音と同様に閩南語でも <-ai> と発音するものは 48 個、<-ai> という字音もあるがそのほかに別の字音をも持つものが 16 個、<-ai> とは発音しないものが 49 個あった。以下の表のとおりである。

表 4：日本漢字音と同様に <-ai> と発音する閩南語の表

韻母が <-ai> である閩南語 (48 個)									
哀あい	ai	愛あい	ài	曖あい	ài	介かい	kài	戒かい	kài
改かい	kái	海かい	hái	皆かい	kai	械かい	hāi	階かい	kai
楷かい	khái	諧かい	hâi	害がい	hāi	崖がい	gâi	涯がい	gâi
慨がい	khài	該がい	kai	概がい	kài	骸がい	hâi	才さい	tsâi
再さい	tsâi	災さい	tsai	采さい	tshái	栽さい	tsai	彩さい	tshái
採さい	tshái	菜さい	tshâi	裁さい	tshâi	塞さい ⁶	sài	載さい	tsài
在ざい	tsâi	材ざい	tsâi	財ざい	tsâi	太たい	thài	耐たい	nâi

⁵ このうち「効、碎、怠、枚」の 4 例は『臺灣閩南語常用詞辭典』になかった。また、「塊」は替代字の字音例しかなかった。

⁶ 「塞」は『常用漢字表』に「さい」以外に「そく」という字音もある。

						7			
待たい	tāi 白/ thāi 文	泰たい	thài	逮たい	tāi	貸たい	tāi	態たい	thài1/ thāi2
台だい	tāi	拝はい	pài	俳はい	pāi	排はい	pāi	敗はい	pāi
味まい	māi	埋まい	bāi	来らい	lāi				

表 5 : <-ai> という字音のほかに別の字音をも持つ閩南語の表

韻母が <-ai> 以外に他の韻母の字音もある閩南語 (16 個)									
挨あい	ai 文	界かい	kài 文	開かい	khai 文	解かい 8	kái 文	蓋がい	kài 文 1
	e 白		kè 白 1/kuè 白 2		khui 白		ké 白		kap 文 2/kah 白 1/kuà 白 2
体たい 9	thái 白	胎たい	thai 文	帯たい	tài 文	袋たい	tāi 文	戴たい	tài 文
	thé 文		the 白		tuà 白		tē 白		tì 白 1/ tè 白 2
大だい	tāi 文	代だい	tāi 文 1/tài 文 2	内ない	lāi 白	売ばい	māi 文	買ばい	mái 文
	tuā 白		tē 白		luē 文		bē 白 1/buē 白 2		bé 白 1/bué 白 2
頼らい	nāi 文								
	luā 白								

表 6 : 日本漢字音とは違い <-ai> と発音しない閩南語の表

韻母が <-ai> ではない閩南語 (49 個)									
回かい 10	huê1/h ê2	灰かい	hue	会かい 11	huē	快かい	kuái	拐かい	kuái
悔かい	huí 白/ hué 文	絵かい 12	huē	潰かい	khui	壊かい	huāi	懷かい	huāi
外がい 13	guā 白/ guē 文	街がい	ke1/ku e2	妻さい	tshe	宰さい	tsáinn	濟さい	tsè
祭さい	tsè	齋さい	tsê1/tsu ê2	細さい	sè1/suè 2	最さい	tsuè	債さい	tsè
催さい	tshui	歳さい	huè 白	際さい	tsè/ tsè	劑ざい	tsè/tse	罪ざい	tsē 白/ tsē

7 「太」は『常用漢字表』に「たい」以外に「た」という字音もある。

8 「解」は『常用漢字表』に「かい」以外に「げ」という字音もある。

9 「体」は『常用漢字表』に「たい」以外に「てい」という字音もある。

10 「回」は『常用漢字表』に「かい」以外に「え」という字音もある。

11 「会」は『常用漢字表』に「かい」以外に「え」という字音もある。

12 「絵」は『常用漢字表』に「かい」以外に「え」という字音もある。

13 「外」は『常用漢字表』に「がい」以外に「げ」という字音もある。

		14	1/hè 白 2/suè 文				俗		tsuē 文
対たい 15	tui	退たい	thè	堆たい	tui	替たい	thè1/th uè2	隊たい	tuī
滞たい	tī	第だい	tē	題だい	tê1/tuê 2	杯はい	pue	背はい	puē1/pu è2
肺はい	hì	配はい	phuè1/ phè2	廢はい	huì	輩はい	puè	倍ばい	puē
梅ばい	muê 白 1/m̂ 白 2/muī 文	培ばい	puê	陪ばい	puê	媒ばい	muê 白 1/hm̂ 白 2/ muī 文	賠ばい	puê1/pê 2
毎まい	muí	妹まい	muē1/b ē2	雷らい	luí	賄わい	hué		

表 1 から、閩南語でも <-ai> と発音されるものは 48 個あり、全体の約 42% であることがわかった。表 2 から、<-ai> という字音のほかに別の字音も持つものは 16 個あり、全体の約 14% であることがわかった。表 2 の字音を観察すると、日本語と同じく <-ai> と発音するのは、「内」を除いて全て「文讀音」である。表 3 から、<-ai> とは発音しないものは 49 個あり、全体の約 43% であることがわかった。

結果、表 1 で 4 割程度、表 2 の数も加えると 6 割弱となるものの、表 3 が 4 割以上であり、しかも表 1 よりも多いことは注目に値する。<-ui> に比べると、その対応が高くはないと言える。

表 2 と表 3 で見られた別の字音は以下の 10 種類である。

- 1) 複元音韻母 <-ue> 29 例、<-ui> 12 例、<-ua> 5 例、<-uai> 4 例
- 2) 単元音韻母 <-e> 29 例、<-i> 3 例
- 3) 聲化韻母 <-m> 2 例
- 4) 入聲音韻母 <-ap> 1 例、<-ah> 1 例
- 5) 鼻化元音韻母 <-ainn> 1 例

このうち、<-ue> と <-e> の例が多く見られることには注意を払いたい。この二種だけで 58 例にもものぼる。また、<-uai> と <-ainn> は <-ai> に近いと言える。

6. おわりに

本稿では、日本漢字音の二重母音のうち <-ui> と <-ai> に焦点を当てて、閩南語韻母との対応関係を考察した。このうち <-ui> は高い確率で対応していることが確認されたが、<-ai> はその対応が高くはなかった。<-ai> の対応が高くない原因について、分析を進めたい。

また、本稿では日本漢字音の視点から考察を試みたが、閩南語のほうから見ると、閩南語では <-ui> と発音されるが、日本語では <-ui> と発音されないものが以下の 50 例ある¹⁶。

¹⁴ 「歳」は『常用漢字表』に「さい」以外に「せい」という字音もある。

¹⁵ 「対」は『常用漢字表』に「たい」以外に「つい」という字音もある。

¹⁶ 「対」は『常用漢字表』に「たい」以外に「つい」という字音もある。

衣	位	圉	委	威	為	畏	胃	萎	偉	違	維	慰	遺	緯	悔	開	潰	危	氣
季	軌	鬼	埶	規	龜	幾	揮	貴	毀	輝	機	偽	惠	碎	催	對	堆	隊	廢
梅	媒	妃	肥	非	飛	費	沸	每	雷										

同様に、閩南語では<-ai>と発音されるが、日本語では<-ai>と発音されないものが以下の19例ある。

差	史	司	私	使	師	似	事	侍	西	婿	汰	知	届	奈	梨	派	眉	利
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

このような、閩南語の視点からの考察も今後の課題としたい。

最後に、本稿で明らかになった対応関係は、日本語教育に以下のように役立てていきたい。まず、日本語漢字学習の授業で、間違いやすい漢字の例を挙げ、内省、類推させる練習が想定できる。更に、長音の例と合わせ、使用頻度が高く、誤用が出やすく、かつ対応傾向が理解しやすい漢字の学習帳を作成することも学習者には有益となるだろう。

参考文献

- 阿久津智（1989）「台湾語話者とその日本語の発音」『筑波大学留学生教育センター日本語教育論集』4、pp.53-64、筑波大学留学生教育センター
- 汪南雁（2016）「中国語話者を対象とする日本漢字音教育のための基礎的研究：日本語能力試験2級漢語を中心として」、大阪大学博士論文
- 教育部國語推行委員會（2011）『臺灣閩南語常用詞辭典 網路版』
- 小出敦（2007）「日本漢字音・中国中古音対照表」『京都産業大学論集.人文科学系列』37、pp.133-156
- 黃華章（2004）『華人的日語語音學』台北：致良出版社
- 佐藤圭司（2015）「日本語漢字音と中国語韻母の対応研究—台湾人日本語学習者のために」『天理臺灣學報』24、pp.53-72
- 佐藤圭司（2016）「日語漢字讀音「長音」與閩南語韻母的對應研究」『國立屏東科技大學人文社會科學研究 教育類』10（4）、pp.83-103
- 佐藤圭司（2022）「閩南語韻母と日本語漢字音の対応研究—「長音」を中心に—」『天理臺灣學報』31、pp.65-85
- 佐藤圭司（2022）「日本漢字音と閩南語韻母の対応—入聲音を中心に—」『2022年應用日語國際學術研討會予稿集』、pp.51-103
- 沈文良（2001）「台湾語における漢字音の一考察」『天理大学學報』53（1）、pp.1-18、天理大学學術研究会
- 館野由香理（2016）「現代日本漢語の漢字音」、聖徳大学博士（日本文化）学位請求論文
- 陳子博（1979）「台湾閩南語の研究：日本漢字音への展開」『語文研究』48、pp.48-65、九州大学国語国文学会
- 中澤信幸（2012）「日本語の漢音・呉音と台湾語の讀書音・俗音」『山形大学大学院社会文化システム研究科紀要』9、pp.59-68
- 林史典（1982）『日本語の世界4 日本の漢字（第5章）』東京：中央公論社
- 文化庁（2010）『常用漢字表（内閣告示第二号）』